

一般社団法人栃木県バスケットボール協会  
平成 28 年度 第 2 回理事会 議事録

日時：平成 28 年 9 月 20 日（火） 18：30～

会場：文星芸術大学附属高校研修室

出席：〔理事〕 22 名 阿部泰紀、上野秀夫、片桐晃、遠藤嘉津敏、鈴木克美、直井秀之、高橋哲夫  
福田悦男、杉森豪、佐藤智信、渡辺諭、前原延之、北条和寿、別井明彦、小林史雄、

古谷常夫、横澤隆一、新村雅司、石渡光平、福田憲司、山田将樹、矢野まなみ

〔監事〕 1 名 井上尉央

〔代議員〕 1 名 高崎徹

欠席：〔理事〕 5 名 小曾戸和彦、中村剛久、日向野信行、佐々木清美、塚原弘江

〔監事〕 1 名 荻美紀

## 1 あいさつ

阿部会長：台風の影響の中お集まりいただき感謝する。スムーズな審議をお願いしたい。

## 2 報告事項

### (1) 関ブロ関係

① 少年男子：○1回戦 61-102 で千葉に敗退した。

○少年男子強化遠征等報告

・韓国遠征（8/7～11）、フィルムン高校、ベゼ高校、ナクセン高校と対戦して  
5勝1敗の成績であった。

② 少年女子：1回戦 65-90 で千葉に敗退。

③ 成年女子：佐藤監督が来てから報告。

(2) 中体連：○県中学総体の結果、男子優勝 鬼怒中、2位清原中、3位日光東中・西方中、女子優勝  
陽南中、2位間々田中、3位一条中・若松原中で、男女1・2位が関東大会に出場権を得た。

○関東中学では、男子鬼怒中が3位、女子陽南中が準優勝して全国中学大会に出場権を得た。

○全国中学では、男女ともに決勝トーナメントに進出し、鬼怒中がベスト16、陽南中が  
ベスト8と健闘した。

(3) 高体連：○ウインターカップ一次予選が終了し、二次予選の出場16チームが出そろった。

○1年生大会は、台風の影響により中止となった。

(4) クラブ連：○マロニエ大会の結果は、男子烏山、女子TBCが優勝した。

○関東クラブ選抜大会へは、男子ホンダ・鏝阿、女子スクラッチ・栃銀が出場したが、  
鏝阿がベスト8、そのほかは1回戦で敗退した。

○関東シニア大会、スーパーシニア交歓大会にも参加したが、一回戦で敗退した。

(5) ミニ連：○関東スポーツ少年団交流大会に、男子は宮の原が1位リーグ2位、みはらが3位リーグ

1位、女子は宝木が2位リーグ3位、宮の原が3位リーグ1位であった。

○任意の大会であるが、さざ波大会で、男子宮の原が優勝、女子宮の原が5位となった。

(6) 強化部：○ジュニア育成プロジェクトから、U-13、U-15、U-16の選手と練習会について報告

(7) ブレックス：○プレシーズンマッチの報告、4勝1敗であった。

○U-15のプロジェクトにおいて、高校進学へのアドバイスとして「プロ選手になるために：日本男子の現状と高校・大学進学へのアドバイス」を配布した。

### 3 定足数について

○定款第47条により、理事総数27名うち出席理事22名、過半数以上の出席により定足数を満たし本理事会は成立。

### 4 議事録署名人の選出について

阿部会長：クラブ連の 石渡光平 氏 と教員連の 杉森豪 氏 にお願ひする。

### 5 審議事項（議長：阿部会長）

議長：審議に入るが、審議事項1は監事の井上氏が来てから、審議事項2は関連性があるのでその後にする。

#### (1) Bリーグ委員会（案）について（高橋事業部長）

○昨年度までのNBL支援委員会を引き継ぎ、事業部の中にBリーグ委員会を立ち上げたい。

○委員長1名、副委員長（TO担当、スタッツ担当、会計担当3名）、TO担当・スタッツ担当から3名ずつの委員を選出し、その他は実務担当として組織。

●賛成者多数により承認される。

#### (2) Bリーグにおけるゲームディレクター（案）について（遠藤専務理事）

○Bリーグよりゲームディレクターの推薦依頼があった。この業務は、Bリーグのチェアマンの代行としてゲームの管理に努めるものである。Bリーグでは、この契約を協会としてでも個人としてでもよいと言っているが、県協会としては 県が請け負う形態としたい。

○県協会としては、推薦者を専務理事・事業部長・Bリーグ委員会委員長の3名を推薦したい。

○Bリーグでは、推薦者は県協会の役員としているので、今回委員会委員長については参与という役職にしたい。

●賛成者多数により、この3点について承認される。

議長：白鷗大・佐藤監督が見えたので、関プロの報告をお願ひする。

佐藤監督：関プロでは、東京に最後の最後に追いついて延長戦で勝つことができた。

一回戦 対群馬 98-46      二回戦 対千葉 83-69

決勝 対東京 87-78

本大会一回戦では岐阜に勝って天皇杯の得点に貢献したい。

#### (3) 慶弔規程（案）について（井上監事・遠藤専務理事）

○この規定案には、激励金についての項目がある。

○これまで慶弔規程はなく慣例で処理してきた。激励金についても必要に応じて贈呈してきた。

○財務と相談して慶弔規程の中に入れるよう提案を受け原案を作った。

●賛成者多数により承認される。

(4) 成年女子岩手国体派遣費等(案)について(鈴木財務部長)

○県からは、監督・選手の分しか出てこない。

○原則として、マネージャーやアシスタントコーチの分の実費を支出することとしたい。

○平成 31 年からは、関ブロを勝ち抜いた種別が本国体に出場することになる。今後は、関ブロ以降の強化費や派遣費を予算化する必要もある。

●賛成者多数により承認される。

(5) その他

ア 岩手国体の視察について(上野強化部担当副会長)

○成年女子が勝ち抜いて、成年男女の 2 種別が出場することになった。については、視察団を派遣したい。

●賛成者多数により承認される。

イ 視察関係旅費の支出について(鈴木財務部長)

○なるべく経費をかけない方法で、多くの方に行ってもらいたいので、交通費と宿泊費については協会から支出したい。

●賛成者多数により承認される。

ウ ブレックスカップ主催の変更について(中学生連盟前原理事)

○予選を中学生連盟とブレックスの主催、決勝トーナメントは協会とブレックスの主催としたい。

●賛成者多数により承認される。

エ 選考委員会の立ち上げについて(福田強化部長)

○県レベルの各カテゴリーの選抜選手選考会に、強化部の選考委員会として委員を派遣し、選手選考の透明性を図るため関わりをもっていきたい。

●賛成者多数により承認される。

オ 関東大学リーグにおける U-15 のエキシビジョンゲームについて(福田強化部長)

○白鷗大学で開催される男子リーグ戦のゲームの間に、白鷗大の協力を得てジュニア育成事業の一環として実施したい。協会として関係中学校に派遣依頼文書を送付してよいか。

●賛成者多数により承認される。

会長：理事会審議事項終了

4 成年女子激励金贈呈

会長より白鷗大学佐藤監督へ激励金が贈呈される。

5 その他

(1) Bリーグホームゲーム観戦案内について(高橋事業部長)

○昨年どおりであるが、申し込み方法については変更があるので注意してほしい。

(2) その他報告事項(関東協会理事長・会長会議)

ア 2016 年度以降のユース育成事業について、神奈川県半田専務理事より関東ブロック育成チームマネージャー及び育成コーチについて日本協会より承認の報告があり、本県関係では関東ブロック U-12 男子育成コーチに須藤真理子さんが任命された。

## イ 国体改革について

- 平成 31 年度より少年種別がU-16 となる。U-15 の中学生については、参加が望ましいということで、メンバーに入れなくてもよい。
- 平成 31 年度より、ストレート種別はなくなり、関東ブロックの本国体出場枠は、少年種別 4 / 8 (都県) となるが、6 年目には 3 / 8 (都県) となり次の年には 4 に戻り、この周期でローテーションされる。成年種別は、2・3・2・3 のローテーションとなる。
- 関ブロのあり方やシード権等については今後検討を要する。
- 関東総合の組合せ会議が 11 / 7 (月) にある。関東総合はこれが最後の大会になる。
- 来年からは、新しい天皇杯となり、栃木県予選が第一回戦となる。関東協会から東地区大会 (二回戦) の開催の打診があったが、会長と相談し断りを入れた。しかし、数年後には開催しなければならない大会であることを理解してほしい。

### (2) ジュニアユースのU-15 の選手について (福田強化部長)

- 注目される選手について、協会として本県高校に進学するようアプローチしてもらいたい。
- 県としても県外流出に歯止めをかけたい。そのためには、協会として、中学校や保護者をお願いした。ただし、協会としては、特定の高校に進学という話ではなく県内の高校に進学してほしいということである

### (3) ジュニア育成事業について (上野強化担当副会長)

- 事業を見に来ていただきたい。

### (4) 関東大学女子リーグについて (白鷗大砂糖理事)

- 9 / 24・25 に白鷗大学で開催されるので、観戦してほしい。

## 6 各専門部会